

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称【1】	境川改修事業	所管課【2】	建設課
		評価者(担当者)	森川敬太
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり	
	主要施策(節)	(5)安心安全なまちづくり	
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域
		<input type="checkbox"/> 【C】観察領域	<input type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H23~H34 年度予定 : 金額 71,112 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 河川法、土地収用法 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 3 目 3 細目 1		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	河道の流下能力不足で、過去に度々浸水被害を被っており、早急な改善が必要である。
対象(誰、何に対して)【9】	市民
意図(どのような状態にしたいのか)【10】	河川水害から、市民生活の安全を守る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H23 年度～ H34 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容【14】	市管理区間については、河川断面を拡幅し、流下能力を高め、災害発生を抑え市民生活の安全を守る。 L=511m
	事務事業を構成する細事業【15】 ⇒ ① 境川改修測量設計等委託事業 ② 境川改修用地購入事業 ③ 境川改修補償事業 ④ 境川改修工事請負事業 ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					67,500
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	7,371			15,200	3,612
		【16】 小計	7,371	0	0	15,200	71,112
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人費用の費	職員人工数	0.40	0.20	0.30	0.30	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
		【17】 小計	2,244	1,085	1,627	1,627	
合計	9,615	1,085	1,627	16,827			

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 境川改修測量設計等委託事業	境川河川改修工事に伴い、河川改良の測量設計委託業務を行う。	委託件数	件	2	0	0	1
② 境川改修用地購入事業	境川河川改修工事に伴い、河川改良の用地購入業務を行う。	取得面積	m ²	0	0	0	0
③ 境川改修補償事業	境川河川改修工事に伴い、河川改良の補償業務を行う。	契約件数	件	0	0	0	0
④ 境川改修工事請負事業	境川河川改修工事に伴い、河川改良の工事請負業務を行う。	整備延長メートル数	m	0	0	0	0
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 河川改修の整備率	整備済延長/計画延長×100	%	0	0	0	0
			0	0	0	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	浸水被害を抑制することが期待できるため、県管理区間の改修工事と調整を図りながら、現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	地域住民の関心も高いため、市整備区間においても県管理区間との調整を図りながら早期に実施していく必要があるため、引き続き継続して行う。	評価責任者 松野 政宏
------------------	--	----------------